

研究彙報 (昭和61年1月〜同12月)

●特別展覧会 (○印は共催)

○比叡山と天台の美術展

会期 五月二十日(火)―七月六日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

伝教大師最澄が延暦七年(七八八)に比叡山延暦寺を開創して以来、昭和六十二年で千二百年を迎えることとなり、これを記念して天台美術の名作を集めて特別展を開催した。

○日本美術名宝展

会期 十一月一日(土)―十一月三十日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

天皇陛下の御在位六十年を慶祝し、先史時代以降各時代にわたり、絵画をはじめとして各部門の名品を展覧した。また、御物・正倉院宝物を加えることができ好評を博した。

●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

▽高台寺蒔絵と南蛮漆器 一月四日(土)―二月二日(日)

新館十五号室 担当・灰野昭郎

近世の蒔絵を代表する高台寺蒔絵と、ヨーロッパへ輸出した南蛮漆器を陳列。

島原・角屋の美術 二月五日(水)―三月二日(日)

新館十一―十三号室 担当・狩野博幸

島原の揚屋として著名な角屋所蔵の作品によって、遊里文化が当代の芸術界に果たした役割を見直すための陳列。

▽人形 二月十五日(土)―三月三十日(日)

新館十四号室 担当・切畑 健

雛祭にちなみ、京都で製作された各種の代表的な人形を陳列。

かなの美 三月五日(水)―三月三十日(日)

新館十三号室 担当・下坂 守

古筆切、和歌懐紙、消息など、繊細な意識のもとにつちかわれたかなの美しさを強調した。

丹後・金剛院の仏像 四月八日(火)―六月二十九日(日)

新館六号室 担当・伊東史朗

舞鶴市金剛院の仏像を中心に陳列し、丹後地方における仏教文化の一端を紹介した。

白衣観音画像 六月四日(水)―七月六日(日)

新館九号室 担当・金沢 弘

十三世紀末からおよそ一世紀の間、好まれた画題であり、また山水図の基礎となった白衣観音図を陳列。

高麗・李朝のやきもの―白磁と染付― 七月二十九日(火)―九月二十八日(日)

本館七・八号室 担当・河原正彦

先年寄贈された笠川コレクションを中心として、高麗白磁、李朝白磁、李朝染付の優品を陳列。

朝染付の優品を陳列。

▽新収品展 七月二十九日(火)―八月三十一日(日)

本館一・二・三号室

昭和六十年度に管理換・購入・寄贈をうけ、館藏品となった作品を陳列。
鉄斎 十二月十六日(火)―昭和六十二年一月十八日(日)

新館九号室 担当・金沢 弘

富岡鉄斎の生誕百五十年記念の意味もこめ、鉄斎の優品を陳列し彼の人間像をうかがった。

●出版刊行

『島原・角屋の美術』特別陳列目録 京都国立博物館 昭和六十一年二月

昭和六十一年二月五日(水)から三月二日(日)までを会期とした特別陳列「島原・角屋の美術」の解説付き目録。B5版、総頁数十三頁、図版単色三

一図、頒価三百円。

『京都国立博物館 学叢』第八号 京都国立博物館 昭和六十一年三月

京都国立博物館職員による研究紀要。論文四篇、作品研究二篇、研究随想一篇、修復文化財関係銘文集、研究彙報、昭和六十年館員執筆物一覽、英文概要などを収録。A4版 図版原色五図、単色四十一図、頒価三千円。

『近世日本の絵画』 京都国立博物館 昭和六十一年三月

昭和五十九年度特別展覧会「近世日本の絵画―京都画派の活躍」に出品の作品を中心とした図録で、論文二篇、作品解説、画人小伝、作品一覽、年表、英文解説を収める。B4版 図版原色一四〇図 単色四十一図、頒価三万円。

『京都国立博物館蔵経塚遺宝』(京都国立博物館蔵品図録) 京都国立博物館

昭和六十一年三月

当館所蔵の経塚関係資料六件を収録した図録。図版解説、英文解説を収録。B4版 図版原色七図 単色二八八図、頒価九千五百円。

『京都社寺報告』VI 京都国立博物館 昭和六十一年三月

京都国立博物館が昭和五十九年度に実施した京都社寺の調査報告書。本年度は地域寺院調査五ヶ寺(阿弥陀寺・願生寺・玉泉寺・光伝寺・大善寺)、特定寺院二ヶ寺(放生院・宝積寺)を調査。A4版 単色図版二二八図、本文五一頁、非売品。

『研究発表と座談会 仏教美術における「インド風」について―彫刻を中心に―』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書第十四冊 昭和六十一年三月

昭和五十九年七月二日に行われたシンポジウムの要約。A4版 研究発表五十七頁、座談会十一頁、単色図版三十一図、頒価八百円。

『丹後金剛院の仏像』 特別陳列目録 京都国立博物館 昭和六十一年四月

昭和六十一年四月八日(火)から六月二十九日(日)までを会期とした特別陳列「丹後金剛院の仏像」の解説付き目録。B5版 総頁数十三頁、図版単色十五図、頒価三百円。

『比叡山と天台の美術』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和六十一年五月

昭和六十一年五月二十日(火)から七月六日(日)までを会期とした特別展覧会「比叡山と天台の美術」の概説および解説付総目録。変形25×21版 総頁数四二四、収録図版原色七九図、単色五三〇図、頒価二千元。

『白衣観音画像』 特別陳列目録 京都国立博物館 昭和六十一年六月

昭和六十一年六月四日(水)から七月六日(日)までを会期とした特別陳列「白衣観音画像」の解説付き目録。B5版 総頁数十三頁、図版単色二十二図、頒価三百円。

『御在位六十年記念日本美術名宝展』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和六十一年十一月

昭和六十一年十一月一日(土)から十一月三十日(日)までを会期とした特別展覧会「御在位六十年記念日本美術名宝展」の解説付総目録。変形25×21版 総頁数三四六、収録図版原色三五五図、単色九図、頒価二千円。

●シンポジウム

研究発表と座談会「天台美術の諸相」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表 上山春平)

期日 六月三十日(月)

会場 京都国立博物館

参加者 八十名

研究発表 七条刺納袈裟・刺納衣(切畑 健)・天台法華宗年分縁起 仏教大師筆(藺田香融)・天台彫刻の諸問題(清水善三)・聖徳太子及天台高僧像(有賀祥隆)・普賢十羅刹女像(百橋明穂)

座談会(司会 井上 正)

●国内における調査研究

日本美術史における十八世紀の諸様相とその役割に関する総合的研究 担当・上山春平・狩野博幸ほか

平安京条坊設定に関する復原的研究 担当・森 郁夫ほか

仏教荘嚴の思想とその様式展開 担当・井上 正

智積院の文化財調査 担当・狩野博幸ほか

京都府下の社寺調査 担当・伊東史朗ほか

●海外における調査研究および出張(昭和六十一年一月―十二月)

田中元博 昭和六十一年三月十九日(三月二十五日(行先 大韓民国)「日本の甲冑展」の事前調査。

森 郁夫 昭和六十一年三月十九日～四月一日（行先 大韓民国）

「日本の甲冑展」の事前調査

泉 武夫 昭和六十一年八月十三日～八月二十二日（行先 アメリカ合衆国）

特別展「優雅な筆」展に貸出した出品文化財返却の随伴。

下坂 守 昭和六十一年八月三十日～十月二十九日（行先 スウェーデン王

国・グレイトブリテンおよび北アイルランド連合王国ほか）

昭和六十一年度文部省在外研究員として「在欧敦煌経及びキリシタン関係

文書」の調査研究。

灰野昭朗 昭和六十一年九月二日～九月二十二日（行先 アメリカ合衆国）

アメリカ合衆国所在漆工芸品の調査。